

酒田市科学賞受賞作品展

一階 城輪柵跡展

展示資料目録



- ◆開催期間 1981年7月1日～8月30日
- ◆開館時間 9時30分～16時30分
- ◆休館日 月曜日・祝日
- ◆入館料 大人100円・児童生徒50円

《主催》 酒田市理科教育センター
酒田市立資料館
酒田市一番町8-16 TEL (24) 6544

開催にあたって

酒田市立資料館長

酒田市に科学賞が制定されてから21年になります。その間受賞された作品は、264点。青少年の科学する心をはぐくみ、優れた研究の奨励に役立ってまいりました。今度、夏休みを前にこれらの一部を展示することにより、先輩の研究の実際にあふれ、各人の一層の科学研究に役立たせたいと願うものです。

栄光と伝統に輝く

酒田市教育委員会科学賞作品展

—この規程は、産業都市としての酒田市教育方針にのっとり、青少年の科学研究の優秀なもの又は団体を表彰し、よって市の科学振興を図ることを目的とする。

対象は、市内小、中学校、高等学校の児童生徒及び市内青年学級生又は、これに準ずる産業青年とする。(35.6.25)——

これは、科学賞規程の一節である。昭和35年に科学賞創設以来、本年度で数えて22回を迎えようとしております。

自然のつくりは、数十億年の進化の過程のなかで、まことに精妙につくられております。わたしたちの目には、毎日見なれたものであっても、一步その内部にふみこんでみると、そのつくりの巧みさ、仕組みのすばらしさに驚かされるものであります。

自然の事象は、くわしく見れば見るほど、ふしぎさに満ちております。そのつくりを知れば知るほど、その精妙さにうたれるものです。自然に親しみ、これに積極的に働きかけるなかで、自然を調べる能力や態度が育ち、自然の事物や現象について正しく理解してこそ、感受性・創造性が伸長され、科学する心、自然を愛する豊かな心情を培うことができるものと思います。

科学賞は、次代を担う青少年に、このような願いと期待をこめて創設されたのではないのでしょうか。

これまでの酒田市内小中高校生の「理科研究」の実績は、まことにすばらしいものがあります。科学賞受賞作品あるいは応募作品のなかから、県段階の理科研究コンクールはもちろん、全国的に最も権威のある日本学生科学賞においても、総理大臣賞、文

部大臣賞はじめ、優秀賞、上位入賞など、毎年のように多くの受賞者をだしております。この結果、酒田市の「理科研究」が、全国的にも最も高い水準にあると評価され、当科学賞は、栄光と伝統に輝く権威のある賞として、広く認められておりますことは、まことに喜ばしいことです。

毎年秋、酒田市では、市内小中学校児童生徒を対象として理科研究発表会を開催しております。55年度は151点、216名という多くの発表がありました。年ごとに研究がさかんになり、発表点数を制限して実施しているのが現状です。発表の内容をみますと、子どもらしい素直な目で、感動をもって自然を見つめている作品が多く、また根気よく長期にわたって努力したすぐれた作品が多くみられました。

これらの作品のなかから優れたものが推せんされ、審査の上、受賞作品が決定されます。

栄誉賞は、その中でも特に優れたものに与えられています。

今回の作品展では、小中学校児童生徒の栄誉賞と科学賞に受賞した作品を中心として展示してあります。

問題を発見する、解決のヒントを見つける、新しい考えに到達する。わたしたちは、このような活動を日常のなかで行っています。とくに子どもたちは、すべてのことに興味と関心をもち、新しいことに挑戦します。子どもたちが、主体的に自然を探り、自然のなかにみられるさまざまな「きまり」を発見し、理解することは、創造性や感受性を育てる最適の活動の場であります。理科研究は、自然から直接学ぶために観察や実験をとおして行われます。そして、そこからいろいろな情報が得られます。そこまでは、多くの子どもは喜んでやりますが、その先からのとりくみがむずかしいのです。この作品展にあるすぐれた作品を十分にみていただき、子どもたちにさらに「科学する芽」「科学する心」を育てるきっかけをつかんでいただければ幸いです。〈酒田市教育長〉